

欧州自動車産業ニュース

No. 952

2024年10月18日号



中国が反ダンピング措置発動 EU産ブランドーに、EV問題で報復開始

日産、英国で2026年にV2G技術を導入

ダイムラー・トラック、「eアクトロス 600」75台を受注

独光学大手ツァイス、現代モータースと戦略提携

© European Community

* PDFファイルでご覧の方は左のパレットの「しおり」を開き、見たいタイトルを選択して下さい。

■注意■

- 1.本誌の使用は、お申込み登録いただいた住所の事業所内及びE-Mailアドレスに限り、他への配布・回覧・転送を固く禁じます。
- 2.本誌のご利用によって生じたトラブル・損失・損害に関し、当社は一切の責任を負いません。

FBC Business Consulting GmbH August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M. (Germany)
Tel : 069-5480950, Fax : 069-54809525, E-mail : fbc@fbc.de, <http://www.fbc.de>

Rechtsform: GmbH Sitz: Frankfurt am Main HRB 44664 Geschäftsführer: Susumu Fujita

総合

中国がEU産ブランドに反ダンピング措置発動、EV問題での報復開始 4

企業情報

自動車メーカー

日産、英国で2026年にV2G技術を導入 5
ダイムラー・バスズ、H2モビリティと協力・路線バス用水素インフラ構築で 6
ダイムラー・トラック、蘭物流会社から「eアクトロス 600」75台を受注 6
JLRのQ2小売販売3%減、完成車不足が影響 7
仏ルノー、パリモーターショーで「トゥインゴE-Tech」を公開 7

部品メーカー

蘭トトム、イベコの商用車に最新ナビシステムを供給 8
仏ヴァレオ、パリモーターショーでSDV関連の最新技術を紹介 8
西アントリンとブルガス大、自動車エレクトロニクスの学習プログラムを開始 9

クローズアップ

HyPerformer HyBayern 10

欧州自動車短信

HYVIA、ソラリス 11

一般・その他

欧州投資銀、域内スタートアップ支援を強化.....	12
EUの新出入国管理システム、11月10日始動を断念.....	13
ウクライナへの350億ユーロ融資、加盟国が承認.....	13

テクノロジー・トレンド

独光学大手ツァイス、現代モービスと戦略提携.....	14
----------------------------	----

目で見える欧州自動車産業ニュース

ギリシャ新車登録台数：2024年1～9月	15～16
----------------------------	-------

企業名索引.....9

欧州経済を伝える



FBCでは、読者の皆様と一緒に誌面作りに取組みたいと考えております。
お気づきの点や率直なご意見・ご感想など、弊社カスタマーサポートまで
ぜひお気軽にお寄せください。

< FBCカスタマーサポート >

Tel : +49-(0)69-5480950

Email: info@fbc.de

FBC Business Consulting GmbH
August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M/Germany

<http://www.fbc.de>

総合

中国が EU 産ブランドーに反ダンピング措置発動、EV 問題での報復開始

中国商務省は8日、欧州連合（EU）産ブランドーに反ダンピング（不当廉売）関税を暫定的に課すと発表した。中国製電気自動車（EV）への関税上乗せを正式決定した EU に対して、さっそく報復措置に乗り出した格好だ。

中国政府は1月、EU の欧州委員会が 2023 年 10 月に中国製 EV に対する反補助金調査を開始したことへの対応措置として、EU 産ブランドーへの反ダンピング調査を開始。8 月末にダンピングを確認したという暫定調査結果を発表していた。

商務省によると、反ダンピング措置は EU 産ブランドーを輸入する事業者に、輸入額の 30.6 ～ 39% に相当する保証金を税関に納めることを求める形となる。11 日から実施する。

中国政府は EU 産ブランドーをダンピングと認定してからも、反ダンピング措置発動は見送っていた。EU や加盟国に脅しをかけることで、EV への追加関税を撤回させる狙いがあった。

しかし、EU 加盟国が 4 日、中国製 EV に関税を大幅に上乗せすることを賛成多数で承認したことから、報復措置として発動に踏み切った。

中国が輸入するブランドーの 99% をフランス産が占めており、今回の措置は事実上フランスを狙い撃ちしたものとなる。フランスは中国製 EV への追加関税を強く支持しており、4 日の採決では賛否が分かれ、棄権する国も多かった中で、賛成票を投じていた。

中国は EV 関税問題での対抗措置として、ブランドー以外にも、EU 産の豚肉に対する反ダンピング調査、EU 産乳製品への反補助金調査を開始している。商務省は 4 日、EU 製の大型エンジン車に対する関税の引き上げを検討していることも明らかにした。

欧州委員会は今回の中国の決定について、世界貿易機関（WTO）のルールに反するとして、中国を WTO に提訴する意向を表明した。

<AI22298>

必要な情報を収集します

30年間で培った「600件以上の調査実績」

各種調査はFBCにお任せください



企業情報

■自動車メーカー■

日産、英国で2026年にV2G技術を導入

日産自動車はこのほど、英国で販売する一部の電気自動車（EV）を対象に、2026年にV2G（電気自動車と電力網の連携）技術を導入すると発表した。「ニッサンエナジー（Nissan Energy）」の名前を通して、英国に続いて他の欧州市場にもV2G技術を導入していく方針を示している。V2G技術の導入により、再生可能エネルギーを車載充電機に充電してEVから住宅や電力網に電力を供給するなど、再生可能エネルギーの有効活用が可能になる。

日産は当該技術の導入に向けて、英国のノッティンガム大学で1年間の実証プロジェクトを実施した。当該プロジェクトの成功により、交流電源（AC）システムによるグリッド認証コード「G99」を取得し、英国の系統電源への電力供給が可能となった。

なお、この実証試験では、ACおよび直流電源（DC）の双方向システムの拡張性の検証を行った。英国に続いて他の欧州市場にV2G技術を導入する際には、現地のインフラ規制要件に沿って、ACとDCのどちらが適切かを判断していく。

日産は、V2G技術の導入により、EVにおける再生可能エネルギーの利用を推進するとともに、EVから住宅や電力網への電力供給も含めた総合的なエネルギー・エコシステムの実現を目指している。



出所：Nissan Deutschland

<AI22299>

— 競業企業の動向を定期的にウォッチします —

キーワードに沿って情報を「**クリッピング**」し

日本語に抄訳してご提供します

料金は月々1,000～3,000ユーロから



ダイムラー・バスズ、H2 モビリティと協力・路線バス用水素インフラ構築で

独自動車大手のダイムラー・トラックは15日、バス部門ダイムラー・バスズが、水素供給スタンド網を建設・運営する合弁会社 H2 モビリティ・ドイッチェラント（以下、H2 モビリティ）と、交通事業者向けの水素供給インフラの構築で協力すると発表した。

ダイムラー・バスズは路線バスを運行する近距離公共交通事業者に、総合的なコンサルティングサービスの一環として、H2 モビリティの水素供給スタンドの利用を案内する。交通事業者の近隣にある既存の公共スタンドを案内するほか、H2 モビリティが事業所に直接、水素供給スタンドを整備することもできる。

ダイムラー・バスズは2023年から、燃料電池をレンジエクステンダー（航続距離延長装置）として搭載したメルセデスベンツの連接バス「e シタロ・フューエルセル」をラインナップに持つ。
<AI22300>

ダイムラー・トラック、蘭物流会社から「e アクトロス 600」75 台を受注

独商用車大手のダイムラー・トラックは17日、オランダの物流会社シモン・ロース（Simon Loos）からメルセデスベンツの電気トラック「e アクトロス 600」を75台、受注したと発表した。シモン・ロースは2025年第1四半期に「e アクトロス 600」を業務に導入する予定。

ダイムラー・トラックは2023年末に「e アクトロス 600」を世界初公開した。ドイツのヴェルトにあるメルセデスベンツ工場で11月末に「e アクトロス 600」の量産を開始し、年内に最初の顧客に納車する予定。

シモン・ロースは、「e アクトロス 600」を主に、小売事業者向けの輸送業務に導入する計画で、充電は輸送先の顧客の充電設備で行う。

■ 一回のフル充電で500kmを走行

「e アクトロス 600」の車載充電機の容量は600キロワット時を超える。一回のフル充電で500kmを走行することができる。法律で定められたドライバーの休憩時間中に充電すれば、（メガワット充電システム（MCS）がなくても）1日に1,000km以上の走行が可能になる。

「e アクトロス 600」は、400kWまでのコンバインド充電システム（CCS）で充電できるほか、将来、メガワット充電システム（MCS）が導入・標準化されれば、MCS充電コネクタを後付けすることができる。

<AI22301>

情報の少ない中東欧やロシア
CIS、トルコの経済動向を
お伝えしています



東欧経済ニュースを読んで
情報を集めよう



JLR の Q2 小売販売 3%減、完成車不足が影響

英高級車メーカーのジャガー・ランドローバー (JLR) が 7 日発表した 2024/25 年度第 2 四半期 (7-9 月期) の小売販売は前年同期比 3%減の 10 万 3,108 台 (中国合弁の奇瑞ジャガー・ランドローバー・チャイナを含む) に縮小した。アルミニウム製部品の供給混乱による完成車不足が響いた。卸販売は 8 万 7,303 台 (奇瑞ジャガー・ランドローバー・チャイナを除く) となり、前年同期比で 10%後退した。

第 2 四半期の生産台数は約 8 万 6,000 台で、前年同期から 7%減少した。小売販売伸び率を地域別にみると、英国 (29%増)、北米 (9%増) は好調に推移したものの、大陸欧州 (22%減)、中国 (17%減)、その他の海外 (6%減) は振るわなかった。

収益性の高い「レンジローバー」と「レンジローバースポーツ」、「ディフェンダー」の販売比率は卸販売の 67%を占めた。

JLR では今後、アルミの供給が正常化するのに伴い、生産台数と卸販売は会計年度後半にかけて大きく回復すると予想している。

<AI22302>

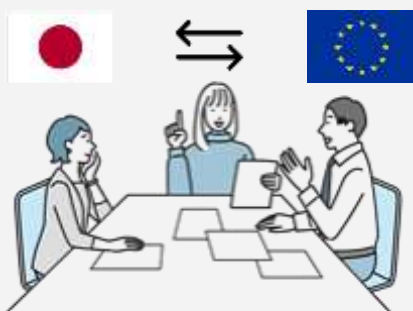
仏ルノー、パリモーターショーで「トゥインゴ E-Tech」を公開

仏自動車大手のルノーは 8 日、今年のパリモーターショー (10 月 14 日～ 20 日) で、小型車「トゥインゴ」の電気自動車 (EV) モデル「トゥインゴ E-Tech」の試作車を公開すると発表した。同モデルは市街地での用途に設計された都市型電動車。2026 年から発売する予定で、販売価格を 2 万ユーロ未満に抑え「廉価版 EV」として展開する。

トゥインゴ E-Tech は小型ながら 5 ドアで実用性が高い。流線型の車体や、ヘッドライトに半円状の LED リングを採用するなど未来的な外観を持つ。

ルノーは EV・ソフトウェア開発の新会社アンペアを通じて、今年 4 月から同モデルの開発を開始した。わずか半年で試作車を公開する背景には、欧州進出を加速させる中国の EV メーカーの存在がある。中国メーカーは新車開発に要する期間を従来の約半分の平均 2 年半に短縮している。このため既存の自動車メーカーにはコスト削減に加え、新モデル投入までの時間を短縮する圧力がかかっている。ルノーはすでに EV モデルの開発期間を「メガヌ」で 4 年、小型車「R5」で 3 年に縮めている。

<AI22303>



駐在員事務所代行サービス

欧州に事務所がなくても、
FBCが新規取引先の開拓や連絡、
貿易事務を代行します

■部品メーカー■

■蘭トムトム、イベコの商用車に最新ナビシステムを供給

オランダのデジタル地図サービス大手トムトムは9日、伊商用車大手イベコの車両に最新のナビゲーションシステムを供給すると発表した。小型商用車（LCV）「デイリー」、電動モデルの「e デイリー」、大型トラック「エスウェイ」の新モデルが対象となる。

ナビゲーションと地図、ルート設定、リアルタイムの交通情報、コネクテッドサービスなどの機能を一括で提供する。これにより当該車両は稼働時間の最大化や経路の最適化、移動時間の短縮が可能になり、ドライバーとフリート運営者の効率や快適さが向上する。各機能は無線更新機能（SOTA）により常時アップデートされる。

トムトムは声明で、「最新かつ正確な位置情報への常時接続を実現することで、完全電動（BEV）、ハイブリッド（HV）、天然ガス車（NGV）など様々なフリート向けに高度なナビゲーションソリューションを提供できる」と述べた。

<AI22304>

■仏ヴァレオ、パリモーターショーでSDV 関連の最新技術を紹介

仏自動車部品大手のヴァレオは10日、今年のパリモーターショー（10月14日～20日）で、ソフトウェア定義車（SDV）の関連製品やソリューションを出展すると発表した。展示されるのは、各種センサー、高性能コンピューティングユニットおよび冷却システム、ソフトウェア製品群など。さらに、組込みシステムとデータ駆動型開発の双方で、人工知能（AI）の能力を最大限に活用するソリューションも紹介する。

ヴァレオはまた、同モーターショーで◇ゲーム開発プラットフォーム「ユニティ（Unity）」を用いた拡張現実（AR）タイプのドライビングゲームシステム「ヴァレオ・レーサー」◇完全電気自動車（BEV）の熱管理を最適化し、走行距離と電池寿命の延長につなげるソフトウェア「Predict 4 Range」◇ルノーの小型ハッチバック「5」のBEVモデル「5 E-TECH エレクトリック」向けに開発した照明モジュール◇自動運転車において、道路利用者や警察官などの動きの意味を AI が理解するソリューション「パントマイム（Pantomime）」——などのイノベーションや独自製品も展示する。

<AI22305>

**競合企業のサンプル入手****ベンチマーク調査****リバーズエンジニアリングに！**

西アントリンとブルガス大、自動車エレクトロニクスの学習プログラムを開始

スペインの自動車内装部品大手グループ・アントリンは7日、ブルゴス大学（UBU）と協力して自動車エレクトロニクスの学習プログラムの第1期講習を開始したと発表した。電子機器開発に関する専門知識を教授し、将来の人材獲得につなげる狙い。第1期では電子工学専攻の卒業生8人が参加する。

プログラムは9カ月で、ブルゴス大学の教授陣とアントリンの専門技術者による講義やアントリンの技術センターでの研修、修士課程修了（TFM）準備などを行う。学生たちはアントリンの専門家から、電子システムの設計、開発、検証およびサイバーセキュリティに関する高度な知識を学ぶことができる。

アントリンのフェルナンド・サンツ最高人事責任者は、「我々は自動車業界の主要分野で最も才能のある若者を常に見つけている。彼らのスキルを開発し、キャリアを支援するとともに、業界の課題に立ち向かい、モビリティ変革をリードするために最高の人材を確保していきたい」と述べた。

<AI22306>

■企業名索引

今週号のニュースで取り上げられた主な企業を対象としています。

Index

企業名	掲載頁		
Antolin	9	Solaris.....11	
Daimler Truck.....	6	TomTom.....8	
HYVIA	11	Valeo	8
Jaguar Land Rover	7	Zeiss	14
Nissan	5		
Renault.....	7		



HyPerformer HyBayern

バイエルン州のミュンヘン郊外、ミュンヘン近郊のランツフート、エバースベルクのプロジェクト地域圏に地産地消のクローズ型グリーン水素経済を構築する取り組み。

再生可能エネルギーを使用したグリーン水素の生成、水素の配送、交通やエネルギー、産業分野における水素の利用を地域内で実施できるようにする。プロジェクト予算は4,200万ユーロ、実施期間は2020～2025年まで。

プロジェクト地域圏は農地が多く人口は合わせて約70万人。太陽光発電や水力発電などの再生可能エネルギーを活用して地域でグリーン水素を生成する。また、水電解装置や水素の配送センターを整備し、当初はバス用の水素充填ステーションにグリーン水素を供給する。将来は、産業用途向けなどにも水素を供給する計画。

10月14日には、当該プロジェクトを通してプフェッフェンハウゼンに整備した水電解装置がテスト稼働を開始した。生成したグリーン水素はトレーラーで輸送し、ミュンヘン近距離交通運営会社MVVが地域で運行するバスに使用する。

プフェッフェンハウゼンの水電解装置は2024年末までに本格稼働する予定。フル稼働で1日あたり平均1,200キログラムのグリーン水素を生成することができる。これにより年4,500トンの二酸化炭素(CO2)を削減することができる。

ドイツ連邦デジタル・交通省は、水素・燃料電池技術に関する国家技術革新プログラム(NIP2)の枠組みを通して当該プロジェクトを資金支援している。

経済活動に大きく影響する
EUの政策動向をお伝えしています



欧州経済ウォッチャーを読んで
今のEUを知ろう



欧州自動車短信

■ 仏ルノー・グループと米プラグ・パワーによる合弁会社 **HYVIA** はこのほど、フランスのアルヴ渓谷の脱炭素化に取り組むプロジェクト「ArvHy」の一環として、燃料電池を搭載した小型商用車「Master H2-TECH」12 台と、HYVIA と仏 Atawey が共同開発した水素充填ステーション「HYWELL」1 基を供給すると発表した。この水素ステーションは、2025 年春に稼働する予定。Atawey は、水素充填ステーションの設計・製造・販売を事業とする。アルヴ渓谷は産業地帯のため交通量が多く、大気汚染が問題視されている。このため、プロジェクト「ArvHy」では、自治体や企業におけるグリーンモビリティの導入により、アルヴ渓谷の脱炭素化を図る計画。「ArvHy」は 2024 年 7 月にスタートした。



出所：HYVIA

■ ポーランドのバス製造大手 **ソリス** は 17 日、オランダの公共交通大手トランスデブ・オランダ・ホールディング（以下、トランスデブ）から今年初めに電気バス 96 台の大型受注を獲得していたことを発表した。2025 年第 4 半期に納車する予定。トランスデブはこれらの電気バスをユトレヒトの公共旅客輸送に導入する計画。ユトレヒトでは 50 路線を運行しており、年 3,000 万人の乗客を輸送している。トランスデブは、傘下の Connexxion を通してすでに、オランダ南部で燃料電池バス「ウルビーノ 12 ハイドロジェン」を 20 台、運行している。また、アルンヘムでは数カ月前から、ソリスのトロリーバス「トロリーノ 18」を運行している。

<AI22307>

一般・その他

欧州投資銀、域内スタートアップ支援を強化

欧州連合（EU）の政策金融機関である欧州投資銀行（EIB）は7日に開かれた EU 財務相理事会で、域内のハイテク分野のスタートアップ企業への投資を強化する方針を打ち出した。

EIB は 2023 年、ドイツなど 5 カ国と共同で、域内の将来有望な技術系スタートアップ企業に投資する「ヨーロッパ・テック・チャンピオン・イニシアティブ（ETCI）」と呼ばれるファンドを立ち上げた。レイターステージと呼ばれる成長の最終段階にあるスタートアップ企業を有力なベンチャーキャピタルへの投資を通じて支援するものだ。ライバルの米国企業と比べて資金調達が困難な EU のスタートアップ企業を支援し、米国などへの流出を防ぎ、域内のイノベーション（技術革新）を底上げする狙いがある。

今回示した方針によると、ETCI を拡充し、域内で誕生したユニコーン企業（評価額が 10 億ドル以上の非公開スタートアップ企業）への支援を強化する。域内企業による技術系スタートアップ企業の買収、技術系スタートアップ企業の上場を支援する新たなファンドも立ち上げる。

このほか、域内のベンチャーキャピタル、プライベート・エクイティ（PE）市場への投資を一層強化することで、スタートアップ企業が民間資金を調達しやすい環境を整備することなども盛り込んだ。

EU は 24 年 4 月の首脳会議で、域内経済を活性化し、デジタル産業やクリーンエネルギーなどの分野で競争力を強化するため、域内の資本市場を統合して単一市場を構築する「資本市場同盟」の実現に向けた協議を加速させることで合意した。域内の国境を越えた投資を促進し、企業が資金調達しやすくするのが目的。人工知能（AI）やクリーンテクノロジーなど先端技術への取り組みや、グリーン経済への移行とデジタル移行の動きを加速させることを視野に入れる。

EIB の今回の投資強化戦略は、この EU の方針に沿ったもの。詳細は欧州委員会と協議して詰める。

<AI22308>

ヨーロッパで ビジネスパートナーを探したい…



>>> FBCにお任せください！

私たちはロングリスト・ショートリスト調査を通して
みなさまの欧州戦略を強力にサポートしています
欧州に攻め込むための最新の営業リストを作成します

EUの新出入国管理システム、11月10日始動を断念

欧州連合（EU）が非EU国籍者の入国管理を電子化する「出入国管理システム（EES）」の導入を再延期する。欧州委員会のヨハンソン委員（内務担当）が10日に明らかにした。

EESはEUに旅行する日本人など非EU国籍者が、EUの大半の加盟国をはじめとするシェンゲン協定加盟国の国境を通過する際に、出入国を自動的に記録するシステム。180日以内に最長90日滞在する短期の旅行者が対象となる。

旅行者は最初の入国地点の入国審査で指紋、顔など生体データを登録する必要がある代わりに、パスポートにスタンプを押されることが不要となる。空港のほか港湾、道路、鉄道駅などあらゆる国境検問所で導入される。

EUは当初、同システムの2022年の運用開始を予定していたが、加盟国が自国の国境管理システムをEUの中央管理システムと統合する作業が遅れたため、これまで2度にわたって延期された経緯がある。

EUは11月10日の導入を目指していたが、ドイツ、フランスなどから対応が間に合わないとして延期要請を受けていた。ヨハンソン委員は記者会見で、こうした事情を考慮すると、「11月10日に準備が整わないことは明白だ」と述べ、再延期を表明した。

新たな導入スケジュールは未定。ヨハンソン委員は、場合によっては加盟国が同時に導入する代わりに、段階的に運用を開始する可能性があることを明らかにした。

<AI22309>

ウクライナへの350億ユーロ融資、加盟国が承認

欧州連合（EU）加盟国は9日、各国のEU大使による会合で、ロシアによる軍事侵攻が長期化するウクライナへの支援として、最大350億ユーロを融資する計画を承認した。年内に融資を行う。

同融資は主要7カ国首脳会議（G7サミット）で大筋合意した500億ドルの対ウクライナ融資の一部。欧州委のフォンデアライエン委員長が9月、ウクライナのゼレンスキー大統領に融資実施を約束していた。

ウクライナからの返済にはEUが凍結したロシア資産の運用益を充てる。EUとG7は約2,600億ユーロ相当のロシア中銀資産を凍結しており、うち3分の2以上の約2,100億ユーロがEU内にある。その大半をベルギーの決済・証券保管振替機関（CSD）ユーロクリアが保管している。

ウクライナ支援には、7月にEU議長国となったハンガリーのオルバン首相が反対している。EUは今回の支援のハンガリーによる阻止を防ぐため、同融資を加盟国の全会一致ではなく、多数決で承認可能なマクロ財政支援（MFA）の扱いとし、賛成多数での承認にこぎ着けた。

<AI22310>



テクノロジー・トレンド

技術大国ドイツを中心に
注目の技術情報を集めています。

独光学大手ツァイス、現代モービスと戦略提携

独光学大手のツァイスは 14 日、韓国自動車部品大手の現代モービスと自動車向けホログラフィック・ディスプレイの開発で戦略提携すると発表した。韓国の京畿道龍仁市にある現代モービスの技術研究センターで、「透明フロントガラスディスプレイ」を共同開発する協力協定を締結した。両社の協力により、革新的なユーザー体験（UX）を提供するとともに、ユーザーの安全性と利便性の向上を図る。

「透明フロントガラスディスプレイ」の開発では、フロントガラスに透明ディスプレイを統合し、フロントガラスの下部エリアにナビゲーション情報や速度などに関する運転情報を表示する計画。ドライバーは道路から視線を逸らすことなく複数の情報を得ることができるため、安全性が向上する。また、ダッシュボードに様々な表示デバイスを配置する必要がなくなるため、コックピットの新しいデザインが可能になる利点もある。

両社は 10 月に、開発した「透明フロントガラスディスプレイ」のプロトタイプをある大手自動車メーカーにプレゼンテーションする予定という。

ツァイスのマイクロオプティクス部門は、開発した多機能スマートガラス技術を車両や家電などに導入することを目指している。



出所：Zeiss

<AI22311>

経済活動に大きく影響する
EUの政策動向をお伝えしています



欧州経済ウォッチャーを読んで
今のEUを知ろう



目で見る欧州自動車産業ニュース

ギリシャ新車登録台数: 2024年1～9月

乗用車		
2024年1-9月		
メーカー(ブランド)	台数	市場シェア
トヨタ	18,931	17.5%
スズキ	8,782	8.1%
プジョー	8,680	8.0%
現代	7,346	6.8%
シトロエン/DS	7,192	6.7%
オペル	5,472	5.1%
フィアット	4,702	4.4%
BMW	4,667	4.3%
フォルクスワーゲン	4,503	4.2%
起亜	3,934	3.6%
日産	3,370	3.1%
シュコダ	3,275	3.0%
アウディ	3,244	3.0%
メルセデスベンツ	2,750	2.5%
MG	2,436	2.3%
フォード	2,414	2.2%
ルノー	2,313	2.1%
ダチア	2,178	2.0%
テスラ	1,549	1.4%
ジープ	1,542	1.4%
マツダ	1,528	1.4%
ボルボ	1,399	1.3%
MINI	1,265	1.2%
セアト	1,238	1.1%
クブラ	706	0.7%
ランドローバー	478	0.4%
BYD	474	0.4%
三菱自動車	363	0.3%
レクサス	303	0.3%
ホンダ	301	0.3%
アルファロメオ	221	0.2%
ポルシェ	184	0.2%
ジャガー	73	0.1%
スマート	49	0.0%
スバル	32	0.0%
賽力斯(Seres)	24	0.0%
東風小康(DFSK)	21	0.0%
リンク・アンド・コー(Lynk & Co)	20	0.0%
アバルト	18	0.0%
YODO	17	0.0%
マセラティ	14	0.0%
ベントレー	7	0.0%
ロータス	5	0.0%
上汽大通(SAIC Maxus)	4	0.0%
KERABOSS	3	0.0%
フェラーリ	2	0.0%
ランボルギーニ	1	0.0%
知豆(Zhidou)	1	0.0%
シボレー	1	0.0%
不明	1	0.0%
嵐図(VOYAH)	1	0.0%
ウエストファリア	1	0.0%
2024年1-9月 合計	108,035	
2023年1-9月 合計	104,510	
前年同期比伸び率	3.4%	
出所: ギリシャ自動車輸入業者連盟(AMVIR)		

小型商用車 (<3501Kg)		
S		
メーカー(ブランド)	台数	市場シェア
トヨタ	1,890	25.0%
フォード	1,418	18.7%
オペル	868	11.5%
シトロエン/DS	619	8.2%
フィアット	599	7.9%
プジョー	552	7.3%
フォルクスワーゲン	505	6.7%
いすゞ	325	4.3%
ルノー	265	3.5%
メルセデスベンツ	180	2.4%
スズキ	127	1.7%
日産	71	0.9%
上汽大通 (SAIC Maxus)	42	0.6%
ピアaggio	25	0.3%
BYD	24	0.3%
ジープ	14	0.2%
イベコ	14	0.2%
三菱自動車	12	0.2%
グーピル (Goupil)	6	0.1%
アダックス・モーターズ (Addax Motors)	5	0.1%
遠程汽車 (Farizon)	2	0.0%
ダチア	2	0.0%
セントロ (Cenntro)	2	0.0%
浙江飛迪汽車 (FEIDI)	2	0.0%
LEVC	2	0.0%
ガリア (Garia)	1	0.0%
シュコダ	1	0.0%
ビクトリー (Victory)	1	0.0%
安徽江淮汽車 (JAC)	1	0.0%
2024年1-9月 合計	7,575	
2023年1-9月 合計	7,672	
前年同期比伸び率	-1.3%	
出所: ギリシャ自動車輸入業者連盟 (AMVIR)		

<AI22312>